

花巻市立小中学校における適正規模・適正配置に関する基本方針（案）出前学習会開催状況

No	開催日	団体名	会場	主な意見の内容	会場での回答
1	12月18日	八重畑保育園保護者会 八重畑小学校PTA	八重畑振興センター	<p>児童生徒が減少していることは分かるし、新学習指導要領への対応ということも理解できる。ただ、財政が厳しいという理由で統合するということを説明した方がいいのではないか。小規模校でもICTを活用すれば他校の生徒との討論などをできないか。また、1校当たりの教職員の人数が増えても、すぐに多忙化の解消が図られないという考え方もある。この記載内容では、教員の都合で統合を進めるように感じられる。</p> <p>・他の自治体では、統合案がいきなり行政から示され、地域を分断する状況となっている。そうなっては困るので、地域との対話の機会を十分に設けてほしい。</p>	<p>財政的な理由を第一として統合を考えたことはない。あくまでも学習環境を考えてのことである。また、ICT環境の整備にも時間がかかる。それまで今の教育環境でいいのかということ。また、コミュニケーションはやはり人と人が対面で培っていくものだ考える。</p> <p>そのように努めたい。</p>
2	12月20日	ゆもと幼稚園PTA	ゆもと幼稚園	方針案に関する意見なし	
3	12月22日	花巻保育園保護者会	花巻保育園	方針案に関する意見なし	

花巻市立小中学校における適正規模・適正配置に関する基本方針（案）出前学習会開催状況

No	開催日	団体名	会場	主な意見の内容	会場での回答
4	1月10日	湯本保育園保護者会	湯本保育園	統合するのは大変だが、結論からすると統合が一番だと思う。ただ、どの学校もそれぞれ歴史があるので、安易に行うことは避けたい。	ご意見として承る。統合は教育委員会だけで決められるものではなく、地域の方々との話し合いをして合意が得られてからということになる。なお、合意が得られてから概ね2年の準備期間を置くことを基本方針案で示している。
5				学区とコミュニティ地区が一致していないところがある。湯口では一致していない。花巻中学校学区に入っている行政区がある。学区とコミュニティの単位を同じにするという検討もしてもらえると隔たりがなくなるのではないかと思う。	湯口での説明会の際にも学区とコミュニティ地区を戻してほしいというご意見はいただいた。ただ、以前の統合の際に現在の枠組みになった経緯や実際に若葉小学校や花巻中学校学区に入っている親御さんの考えもある。話し合いの土台としてこの基本方針案を示したものの。
6				・統合もありだと考えている。子供たちがたくさんの中中で学習ができないのは、不便である。親や祖父母の思いを引きずることで子供たちが不便にならないよう、子供たちの学習環境を優先すべき。	ご意見として承る。
7				・いつまでも今の校舎を維持していくとなると、将来少なくなる人口で建物を維持していかなければならなくなるのではないか。今の子供たちが高齢者の面倒も見ながら、校舎等の施設も維持していけるのか。統合しても少なくしていくことがよいのではないか。	ご意見として承る。

花巻市立小中学校における適正規模・適正配置に関する基本方針（案）出前学習会開催状況

No	開催日	団体名	会場	主な意見の内容	会場での回答
8	1月19日	亀ヶ森保育園保護者会・ 亀ヶ森小学校PTA	亀ヶ森振興センター	児童が少なくなることで先生が大変になるなら、PTAや地域と協力して学校運営できないか。基本的には今の学校を存続してほしい。	これまで説明会や出前学習会でさまざまなご意見をいただいていた。これからも協議を重ねていきたいと考えている。
9				すでに基本方針が決定されたと誤解している人がいる。こうした場も意見を取り入れてもらえるものではなく、説明を受けるだけと思っている人がいるので、将来的には基本方針案のとおり進めていくのかもしれないが、こちらの意見も取り入れてほしい。	事あるごとにこれは案であることを説明している。当地区の市政懇談会においてもさまざまなご意見をいただいた。小さい単位でも要望があれば伺って説明し、ご意見を伺いたい。方針決定後は教育委員会の考えを皆さんに正確にお伝えし、ご意見をいただいて進めていきたい。なお、小規模化が進む地区があるので、要望のあった地区から協議を進めていきたい。
10	1月19日	八幡まちづくり協議会	八幡振興センター	新学習指導要領の対話的・主体的で深い学びについては、これから重要になると思うが、八幡小学校、石鳥谷中学校では、現状できているのではないか。ここを理由に適正規模・適正配置を論ずるのは慎重にすべきではないのか。	八幡小学校、石鳥谷中学校でそうしたことができるのは、やはり一定規模がぎりぎり確保されているからだと思う。小規模な学校では多様な考えに触れるということが限定されてしまう。子供たち自身で学びを作っていくにはやはり一定集団が必要と考え、このように案を示したもの。
11	1月23日	内川目小学校PTA	内川目振興センター	このような学習会や協議の場を繰り返しやっていると後から「その当時の住民は何をしていたんだ」と言われることになる。早め早めに他地区ではこのような意見があったなど、情報共有しながら進めていかないといけない。	基本方針を決定した後に再度説明をさせていただく機会を設けたい。その段階で保護者の方々や地域の方々へ方向性的意思決定をしていただきたい。
12				教育環境は一番に考えなければならない。適正配置について、国の基準によらず市独自の考え方をまとめるため、有識者会議等の意見を聞いたのは良いことだ。できるだけよい環境で、子供たちが生き生きとした学習環境の中で切磋琢磨しながら個を高めていけるような学習ができればいい。そういう形で進むことを期待している。	ご意見として承る。

花巻市立小中学校における適正規模・適正配置に関する基本方針（案）出前学習会開催状況

No	開催日	団体名	会場	主な意見の内容	会場での回答
13	1月24日	亀ヶ森地区コミュニティ会議	亀ヶ森振興センター	<p>少人数が悪いとは言わないが、ある程度大きいところで育てていかないと視野が狭くなるのではないか。保育園、小学校、中学校と同じパターンで成長していく。せめて統合して大迫地域に1校でいいので残してほしい。</p>	<p>平成20年代に入り減少が一気に加速した。イメージよりも実数としてはかなり減っている。</p>
14				<p>地域のことも大切だが、子供のことを優先して考えてほしい。現実を見据えて割り切ってはどうか。一番大切なのは父母の声。その人たちが残してほしいと言うなら自分も協力するが、統合した方がいいと言うならそれもいいと思う。東和地域のように1校にしてもよいと思う。地域に1校は残してほしい。</p> <p>学校が一つになるなら、山際ではなく、広々と大きく作ってほしい。</p>	<p>統合方法などの具体については、まだ決めていない。大迫地域の場合は、大迫小学校も亀ヶ森小学校もまだ新しいし、教室にゆとりもある。中学校については地域で1校なので、人数が少なくとも地域の一体性がなくならないように、残すことを考えたもの。</p>
15				<p>どのような動線で通勤しているのか実態調査をしてはどうか。地域づくりとは別の観点で地域に一つの学校を置くことが親のニーズにあっているのか考える必要があるのでは。</p>	<p>ご意見として承る。</p>
16				<p>子供の学習環境を考えると、多くの友達と接したり、たくさん経験の積ませるためにはある程度の人数がいた方がいいと思う。子供が社会に出たときに経験の少なさは不利。経験が自信につながると思う。3校一緒になるのはいいことだと思ふし、できれば早くした方がいいと思う。</p> <p>ただ、大迫小学校と一緒になると思うが、大迫地区の人たちは、大迫小学校に吸収するという考えでいるようだ。その意識は変えてもらいたい。</p>	<p>「つながる」という意識で連帯感が生まれる「混ぜてやる」という感覚は嫌われる。方向性が決まったら、地域や保護者等の意識改革から始めて総がかりで大迫地域の子供を育てるという意識を醸成することが大切。子供たちにとって影響が大きいし、学校としても意識が違ってくると思う。</p>

花巻市立小中学校における適正規模・適正配置に関する基本方針（案）出前学習会開催状況

No	開催日	団体名	会場	主な意見の内容	会場での回答
	1月26日	石鳥谷中学校PTA	石鳥谷中学校	(時間の都合上、説明のみ)	
17	1月26日	花巻保育園保護者 (2回目)	花巻保育園	法律等に基づくものであることは分かったが、学習の種類がふえるのにも関わらず、児童数だけで教員の配置人数が決められるのは違うと思う。教員の（多忙化？）ことを言うならもっと違う考え方も必要なのではないか。	教員の増員については、毎年国に要望をしており、昨年も全国で2,000人増えているが、全国の学校数を考えると全く不足している状況。市教委としては先生をサポートする支援員を配置しているが、この方々は自分で授業をすることができない。国の基準は1学級40人となっており、これに対して岩手県は35人と県も頑張っている。引き続き国に要望してまいりたい。
18	1月29日	花巻太陽の子保育園 保護者会	きららホール	学校が統合されるなら、公共交通網の整備、バスのルートの見直しや道路の整備もしっかりと行ってほしい。大きい範囲で地域とのつながりを作っていくことが求められていると感じた。学校の中だけよりも周辺の整備も充実してほしい。	以前東和地域で学校を統合した際にスクールバスを充実させた例がある。市でスクールバスを準備して、地域のスクールガードの方々に見守っていただくことになるが、これを全部の地域に波及できるかといえば、地域ごとにいろいろな事情が出てくると思う。これらについて地域と協議していくことになると思う。
19	1月31日	八重畑コミュニティ 協議会	八重畑振興センター	子供が少なくなっているので、いずれは地域から学校がなくなるのだと思うが、現状90人弱いるのならまだ統合する必要はないのではないかと。できるだけ残してほしい。学力は徒歩通学の方が高いとのことである。統合すれば歩いて通うことができない。また、少人数学級の方が先生の目が届いていいのではないかと。急いでやる必要はないと考える。	統合については、協議を重ねて地域の合意をいただいてから進めることとなる。地域の合意がなければ進めることはできない。ただし、その間にも学校の規模は縮小していくので学校運営について、より地域から協力をいただくことになると思う。
20				地域の懸念は、学校がなくなることで地域から子供がいなくなること。教育委員会が考えることと地域との懸念との乖離が大きい。コミュニティも学校を支援している。もっと地域に目を向けてほしい。	そういう議論はあると思う。教育委員会としてこうした方針案を示したのは、教育環境を重視してのこと。具体的に統合の話を進める際には支所の地域振興課にも入ってもらわなければならないと考えている。東和地域で小学校を統合した際の反省点として、校舎の跡地活用についても同時に検討すべきだったのではという声もある。